

2021年度SDGs未来都市全体計画提案概要(提案様式2)

提案全体のタイトル: 豊かな自然と共生し「ヒト」と「活動」が好循環するまち西条創生事業

提案者名: 愛媛県西条市

全体計画の概要: 豊かな自然に恵まれてきた本市は深刻な危機に直面している。人口減少が加速化する中、これらの直面する多くの課題を解決していくためには、多くの活動人口の存在(ヒト)と自発的な取組(活動)が好循環する仕組みが必要である。そこで、本市では、「LOVESAIJOポイント制度」と全国初の市民総参加によってトレードオフの解消を図る「SDGsingメーター」のもと、三側面からの身近な活動が持続可能な地域社会の実現に繋がり、ひいては世界全体の持続可能な発展に繋がることを実感することができるまちづくりを推進する。

地域の実態

豊かな自然環境に恵まれ、四国屈指の産業都市として恵まれた発展を成し遂げてきた本市は、急速な人口減少・少子高齢化の進展、山林荒廃、石鎚山系の生態系危機、地下水環境の悪化などの深刻な課題を抱えている。

2030年のあるべき姿

みんなで実現しよう！持続可能な西条市
豊かな自然と共生し、人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット

【経済】農業所得の向上、製造品等出荷額の維持、観光消費額および林業産出額の増加
【社会】市民の健康寿命延伸、市民の住みやすさ向上、防災体制の強化、人口の社会増
【環境】温室効果ガス削減、市民の自然環境に対する関心度向上、リサイクル率向上、水使用量の抑制



1. 将来ビジョン

自治体SDGsに資する取組

- 【①持続可能な産業振興のまちづくりに資する事業】全7事業
- 【②住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるまちづくりに資する取組】全5事業
- 【③災害に強く安全で安心して住み続けることができるまちづくりに資する取組】全2事業
- 【④豊かな自然環境と共生するまちづくりに資する取組】全4事業

情報発信

- ◆ バックカスティングの視点から作成した2045年未来予想結果に基づく情報発信
- ◆ アクアトピア水系(SDGsシンボルゾーン)での三側面統合的な普及啓発イベントの開催
- ◆ 全国的に訴求力のある既存施策との抱き合わせによる情報発信
- ◆ 友好都市(ベトナム・フエ市、中国・保定市、オーストリア・セーボーデン市)を通じた発信

普及展開性

- ◆ 地方都市が抱えている持続可能な地域社会の実現に向けた課題がすべて凝縮されている本市の取組は、各方面からの課題解決を図るためのモデル事例となる。
- ◆ 本市が開発する「SDGsingメーター」は、希望する自治体が同様の仕組みを導入することができるよう、参画する企業を中心にサービスの標準化を図る。

各種計画への反映

1. 第2期総合計画後期基本計画(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)
既にSDGs推進の方向性を反映済み
2. 環境基本計画・地球温暖化防止計画
2021年度の見直しを機にSDGs推進の方向性を反映する

行政体内部の執行体制

- ◆ 2021年4月に全庁組織として「西条市SDGs推進本部」(本部長:市長、事務局:政策企画課)を設置する。
- ◆ 重要プロジェクトごとにプロジェクトチームを設置し、現場の情勢に応じて実効的な議論を行うことができる推進体制を構築する。

ステークホルダーとの連携

- ◆ 域内外の主体: 西条市SDGs推進協議会、NTT西日本、タニタヘルスリンク
- ◆ 国内の自治体: 愛媛県新居浜市、福島県相馬市、東京都港区、新潟市、三重県伊勢市
- ◆ 海外の主体: ベトナム・フエ市、オーストリア・セーボーデン市、中国・保定市、台日産業連携推進オフィス(TJPO)

自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「LOVESAIJOポイント制度」と「SDGsingメーター」を通じてすべての取組を連動し、市民総参加によって自立的好循環を実現加えて、更なる自律的好循環を促すため、以下の2つの制度を創設する。

- ① SDGsingメーターの実績にもとづいたSDGs推進市民章の創設
- ② LOVESAIJOポイント制度と連動したSDGs推進企業・団体認証制度の創設(西条市SDGs推進協議会の創設)

2. 自治体SDGsの推進に資する取組

3. 推進体制